

うたしない 市議会だより

第53号

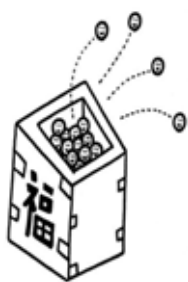
歌志内市議会
議会報編集委員会

発行年月日 平成31年2月1日

行政常任委員会で小学校を視察



平成30年
第4回定例会
12月開催



〔定例会の開催〕
12月11日から13日までの3日間定例会が開催されました。11日は、決算審査特別委員会に付託していた議案の審査結果報告1件、議案9件を審議し、議案9件はいずれも全員一致で原案どおり可決しました。
一般質問は12日4名、13日1名が行い、その後意見書案5件を審議し、採決の結果、いずれも原案どおり可決し、閉会しました。

もくじ

- 議会の動き …… 1P
- 一般質問 …… 2～4P
- 議会報告会 …… 4～6P
- 決算審査特別委員会報告 …… 6P
- 行政常任委員会報告 …… 6P
- 可決された意見書 …… 6P

行政常任委員会で中学校を視察



議会の動き



下山 則義

一 防災・災害対策について
質 今年の議会報告会で、市民から防災及び災害対策について意見が寄せられたが、各項目の対策について伺う。

①有線放送が聞き取りづらい。
②避難所の適切な開設。

③停電時の対策で、避難所に電気の使わないストーブの設置。

④河川に堆積している土砂・倒木の撤去。

答 各項目の質問については、①解消するためには、防災行政無線を整備し、各家庭へ個別受信機を設置する方法があるが、高額なため現在整備の予定はない。消防の有線放送に関しては、放送した内容を電話で聞くことができる音声応答装置を設置している。
②状況に応じ災害対策本部で協議し避難所を開設することとしているが、緊急時の場合、町内会判断でも開設できることとしている。

③備蓄品として10台市役所に保有し、必要に応じ避難所に配備することとしている。
④北海道へ確認したところ、

単独災害復旧事業により一部箇所が、不調・不落到終わり、次年度に発注予定とのこと。

二 第36期(株)歌志内振興公社事業計画について

質 「オゾン水導入システム」の整備などにより一層の利用者増に努めるとあるが、導入による経営改善の効果をどのようにとらえているのか。

答 「塩素」の注入を最低限に抑えることが可能で、健康面でのメリット及び水道料金を2〜3割削減可能と説明を受けている。この効果により利用者が増え収入の増に結び付き、安定的な経営に繋がるものと期待を寄せている。

三 地域おこし協力隊について

質 ぶどう栽培技術者の地域おこし協力隊員の任期が平成31年4月で終了するが、その後の栽培事業はどうなるのか。
答 平成32年度までを試験栽培期間としており、来年度にも試験委託醸造を行う予定。地域おこし協力隊員の方には、任期満了後も継続して事業に携わっていただきたいと考えており、協力隊員が最も働きやすい体制を検討している。



山崎 瑞紀

一 市民と協働で創るまちについて

質 市民と協働で創るまちづくりを進めるにあたり、まちづくりの道しるべとする「総合計画」や地方創生を指す「総合戦略」の進捗状況等を、市民に発信し共有する必要があると思う。以前の一般質問の答弁の中で、進捗状況等具体的な説明を地区別市政懇談会で説明するとされていた。総合戦略の一部改訂や検証結果などについては、ホームページに掲載されているが、いつ頃、どのような機会を設け説明するのか伺う。

答 歌志内市まち・ひと・しごと創生総合戦略の、平成29年度効果検証については、8月に歌志内市総合開発審議会を2回開催し、評価を行ったので、その結果をホームページに掲載し、周知した。

説明の機会については、時期をみて「市と町内会連合会との情報交換会」などで説明したいと考えている。

二 観光施設について

質 かもい岳スキー場をはじめ

めとする、観光3施設の指定管理の応募結果について説明があった。特にかもい岳スキー場は歌志内のシンボリックな施設として位置付けられ、これまで開発・運営が行われてきたものと認識している。

また、行政と町内会連合会との情報交換会が開催され、同様に3施設にかかる今後必要とされる設備投資等の説明がなされたと聞いている。

歌志内市にとって大変大きな課題と捉えているが、多くの市民を交え意見交換等を行う考えについて伺う。

答 12月3日に開催された町内会連合会との情報交換会において、平成31年4月以降の指定管理に向けた公募結果のほか、今後見込まれる設備投資額等について資料を提示して説明を行った。

各町内会には、それらの状況を理解したうえで、今後の方向性についてのご意見を、12月20日に開催予定の情報交換会に持ち寄っていただくことをお願いしているので、各町内会から寄せられたご意見を市民の声としてお聞きしながら、今後の方策を考えて参りたい。



本田 加津子

一 歌志内市のまちづくりについて

質 今後の屋根の無落雪化の計画について伺う。

答 屋根の無落雪化については、歌志内市公営住宅等長寿命化計画に基づき、本年度までに、文珠本通り地区、文珠しらかば団地地区、神楽岡団地地区の耐震化を計った住宅を中心に改修を行ってきた。今後においては、耐震化の改修とあわせて無落雪の改修を行うことは、費用も高額となり、建て替えとの比較検討も必要であることから、現在のところ、屋根の無落雪化についての計画はない。なお、次年度以降の長寿命化計画の見直し時において、建て替えとあわせて無落雪化についても再検討して参りたい。

二 次代を担う子どもたちへの支援について

質 大学や専門学校等の進学希望者に対して、時代に沿った温かい取組みが必要ではないかと思う。早急に現在実施している貸与型の奨学金制度の見直しと、新たな給付型奨

一般質問

学金制度の新設などに取組まなければならぬと考えるが、新年度に向けての取組み内容や、将来的な展望について伺う。

答 本市で実施している貸与型奨学金制度を給付型奨学金制度に見直しする場合、その原資となる財源を確保した上でなければ、給付型制度への移行は難しいと考えている。

2018年6月に閣議決定された骨太の方針によると、第一に、2020年4月より、高等教育の無償化として、対象範囲を年収270万円未満の住民税非課税世帯の子ども達に対して、国立大学の授業料と入学金の全額免除。公立大学についても、国立大学の授業料と入学金を上限に対応を図り、私立大学においても授業料と入学金への措置が盛り込まれている。第二には、給付型奨学金について、学生が学業に専念するため、必要な生活費を賄えるよう措置を講じることとされている。

これらの制度を活用し、大学を目指す皆さんには、諦めずに大学等への進学に向け、日々勉強に励んでいただきたいと考えている。



湯浅 礼子

一 地球のマスタープランと言われるSDGsについて

質 平成29年12月に閣議決定された、まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂版において、自治体におけるSDGsの達成に向けた取組みの推進が盛り込まれ、成功事例の普及、展開等を行うことで、地方創生の一層の深化につなげていくこととされたが、当市は、このSDGsをどのように認識されているのか伺う。

答 SDGsすなわち「持続可能な開発目標」については、可能開発目標」については、まち・ひと・しごと創生基本方針2018においても引き続き盛り込まれており、多様な目標の追求は、日本の各地方における諸課題の解決に貢献し、地方の持続可能な開発、地方創生に資するものであるとされている。

また、全世界共通の目標であるSDGsの達成のためには、国はもちろん、個人、団体、自治体、企業などが、それぞれの立場で取組みを推進することが重要と考えている。本市においても、来年度は



めが さとし

一 通院・買い物移動手段について

高齢化が進み、運転免許証を手放す方が多くなってきた今、当市として高齢者の通院・買い物移動手段はバスかタクシーに依存する傾向が高いと感じるが、そんな中バス路線の存続をどうするのかという問題が大きな話題になっている。

12月3日には市と町内会連合会との情報交換会が行われ、今後バス路線のあり方、それに伴う施策について大きな動きがあるかと思うが、そこで伺う。

質 焼山線バスに関する住民の意見や要望は、今後どのように聞いて、進めていくのか。

答 情報交換会で、焼山線廃止とは別に、市内の移動に対する充実策について検討を進めたいと説明し、現在、後期高齢者に対するタクシー助成制度を考えている旨説明した。
質 バスに代わる施策があるのであれば、きちんとした形で住民皆様に知らせることが大事だと思うがいかがか。

答 12月20日に再度行う情報交換会で、意見・要望を伺うこととしており、予算措置等も伴うことから、充実策が決定次第、市民の皆様にお伝えしたい。

質 総合計画には平成37年まで2路線を維持することが目標となっているが、ここに来て大きな政策転換を行うことになる可能性が出てきたが、市の見解を伺いたい。

答 総合計画に、市内運行路線として、2路線を維持することが掲げられている。しかし、焼山線は人口減少や災害による通行止め等の影響を受け、想定を超える利用者減が続き、補填財源の基金も底をつく見込みとなり、継続するには一般財源で多額の補填をしなければならなかった。

このため、29年秋の地区懇談で、焼山線の現状を話し、歌志内線の路線存続を優先するため、焼山線のあり方について検討することをお伝えした。
2路線とも利用者減の実態にあるため、今後見直しを行う総合計画では、歌志内線存続を優先する政策達成の指標に変更しなければならない。

〔平成30年度 議会報告会〕

平成30年10月4日から11日
にかけ、市内7か所で各町内
会・自治会のご協力をいただ
き開催しました。

議会報告会は、議会が市民
から信頼され民主的なまちづ
くりを実現するために、市政
の情報を可能な限り市民へ提
供し、情報の共有化を図る大
切な場であり、多くの市民の
皆様に市政への関心をより高
めていただくための方法の一
つでもあると考えています。

また、今回も一日に2か所
という短期スケジュールの中、
各町内会・自治会の方々には、
日程調整や会場準備など、本
当にお世話になりました。

報告会の概要

今回は、9月定例会の各議
員の一般質問において、歌志
内市総合計画の内容が多かつ
たことから、市民の皆様にも、
現在市が進めている「歌志内
市総合計画」とはどういう内
容なのか知っていただくため
に、一般質問と市側の答弁の
内容を中心に報告会に臨みま

した。

また、参加していただいた
皆様の声を出されるだけでなく市
政に届けられるよう、意見を
多く聞けるような進行を行
いました。

当初は1時間30分程度の予
定をしていましたが、参加者
の皆様からの意見・要望が多
数出されたため、時間を延長
する会場もあり、終始和やか
な雰囲気での報告会を進めるこ
とができました。

今回の報告テーマ

◎市総合計画について
(9月定例会一般質問か
ら)

■9月定例会での市総合
計画に関連する一般質
問における質問及び答
弁

質 総合計画基本構想に土地
利用の方向性が示されており、
その中で、将来の人口規模を
想定し、住生活環境づくりを
進め、子どもから高齢者、移
住者など誰もが快適に暮らす
ことができるコンパクトな住
宅市街地の形成に取り組むと
あるが、コンパクト化に向け、

当初イメージしていた地域別
重点ゾーンは、現在のどの程度
合致しているのか。

答 総合計画基本構想では、
土地利用の方向性について、
市内を大きく3地区に分けて、
地域別重点ゾーンとしてイメ
ージ図を掲載しており、「中
村・文珠地区」は、戸建てを
中心とした居住地区として文
教施設を集約、「本町・上歌・
東光・歌神地区」は、市営住
宅を中心とした居住地区とし
て公共施設を集約、「神威地
区」は、地域医療を中心とし、
他の2地区を繋ぐ市民の交流
拠点として位置付けている。
この計画は平成28年度から
10年間の計画であるが、現在
まで文珠地区に認定ことも園
本町地区に高齢者専用住宅を
建設し、歌神2地区の移転
や、神威地区は市立病院の医
療機器整備を進めるなど、各
年度で財政状況を勘案しなが
ら必要な事業を実施しており、
今のところそれぞれの重点ゾ
ーンの合致する事業を推進し
ている。

質 歌志内市にスーパーやホ
ームセンターのような店舗が
なく、個人商店やコンビニエ

ンスストアなどで食料品や日
用雑貨などを購入しているが、
自家用車を所有していない世
帯などは必要なものを必要な
ときに購入できない状況にあ
る。

このような買い物弱者への
対応策として、歌志内商工会
議所と様々な協議や検討をさ
れていると思うが、現在の進
捗状況は。

答 商工会議所と協議を続け
ているが、現在のところ具体
的な支援策を講じるには至っ
ていない。

道内においては、自治体、
社会福祉協議会、商工会議所
など地域関係者が連携して、
宅配サービスや買い物送迎な
どを積極的に取り組んでいる

事例が多くあるので、現在、
それらを参考にしながら、新
年度での事業の具体化に向け、
商工会議所と協議を進めてい
る。

質 太鼓、和楽器サークルの
活動は歌志内の新たな魅力に
つながり、人口減少の歯止め
のためにも町おこしのシンボ
ルとして育てあげる意味から
も、どのような支援策を考え
ているのか。

答 両サークルとも文化連盟
に加入しており、文化連盟の
規則に基づいて市の補助金を
財源とした活動助成金が交付
されている。

また、コミュニティセンタ
ーの使用料が8割減免される
ので、このような費用面での
支援のほか、コミュニティセ
ンターを太鼓の保管場所とす
るなど、日々の活動を行いや
すいように支援していく。

質 当市が策定した創生総合
戦略の中で、国の地方創生推
進交付金の活用を予定してい
る雇用結びつくような新規
事業の進捗状況は。

答 歌志内市まち・ひと・し
ごと創生総合戦略に掲載され

議会報告会の様子
(社会福祉協議会)



ている事業のうち、地方創生推進交付金を活用予定の特定事業は現在のところない。

推進交付金は民間と協働して行う事業で、官民協働という認定基準が設けられている。

総合戦略策定時には、官民協働による特定の事業はないので記載していないが、今後、総合戦略の基本目標を達成するため、必要に応じて活用したいと考えている。

質 今後、総合計画の計画期間内で予定されている大型の建設事業は。

答 総合計画の主な施策・事業や、まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業内容には、具体的な事項を記載しているが、計画期間中に、産業の育成や教育の推進、地域重点ゾーンへの集約など、必要な事業を実施していくこととなる。

具体的な事業については、各年度の財政状況や行政需要を勘案しながら検討していく。

質 総合計画に地域別重点ゾーンとイメージ図が掲載され、基本計画の重点プロジェクト3に「現状・課題と方向性」

と「具体的な取り組み」が記されているが、分散している子育て施設の今後は。

答 総合計画基本構想では、土地利用の方向性について、市内を大きく3地区に分け、地域別重点ゾーンとしてイメージ図を掲載している。

子育て施設としては、中村・文珠地区に文教施設を集約する計画のため、本年8月、歌志内中学校横に子育て支援センターの機能も有する認定こども園を開設した。

今後、同地区に、義務教育学校の設置や児童館・児童センターの一元化などについて検討が行われることになる。

各会場で出された 主な意見・要望

【コミュニティ センター】



・元気はつらつ教室の参加人数を増やす取り組みを（年齢別など内容を2〜3段階位に分けて）。

・屋根の無落雪化を行って欲しい。

・有線放送が聞こえないので改善出来ないか。

※直前の有線放送の内容が聞ける電話番号「☎42-5577」の周知を行う。

【文珠第三町内会館】



・市営住宅の家賃減免に繋がる施策を。

・民間住宅を増やす施策を。

・熊目撃が相次いでいるので、対策を講じてほしい。

・停電への対策として各避難所に非常電源設備を整備す

べき。

・避難所開設にあたっては、速やかに適切な判断を。

【上歌新栄地区集会所】



・焼山線バス路線維持を。

・住宅の屋根塗装等の修繕を。

【老人福祉センター】



・空家対策をしっかりと行って欲しい。

・無落雪化された空戸住宅への入居PRと集約に向けた市営住宅のリフォームを。

・河川の土砂堆積除去を。

・各避難所に電気を使わないストーブ等の設置を。

・義務教育学校設置に伴い、身の丈に合ったプール設置の再検討を。

・町内会統合に行政が関与してほしい。

・蜂の巣駆除に助成を。

【社会福協議会】

・高齢者の交通確保のため、焼山線バス路線への対策を。

・災害時における電気・水道等ライフラインの確保を。

【中村地区集会所】



・熊対策をしっかりと行ってほしい。

・祭りなど文化の振興・伝承への対策を。

・認定こども園の件をはじめ市の情報開示が遅いので改善していただきたい。

・公共施設跡地等の草刈りは行政で対応できないか。

【歌神地区集会所】



・高齢者の買い物・通院の足の確保対策を。

・町内にある市のトイレを使わないなら壊してほしい。

・使うなら若干の助成があれば町内会で清掃する。

・蜂の巣駆除に助成を。

・市で貸し出ししている除雪機について、貸出前に十分な整備を。

☆開催場所と参加人数

4名	7名	12名	9名	6名	4名	17名	59名
10/4	10/5	10/5	10/9	10/9	10/11	10/11	10/11
一館所	一館所	一館所	一館所	一館所	一館所	一館所	一館所
タ内集	タ内集	タ内集	タ内集	タ内集	タ内集	タ内集	タ内集
セ内集	セ内集	セ内集	セ内集	セ内集	セ内集	セ内集	セ内集
イ町地	イ町地	イ町地	イ町地	イ町地	イ町地	イ町地	イ町地
テ三栄	テ三栄	テ三栄	テ三栄	テ三栄	テ三栄	テ三栄	テ三栄
ユ第新	ユ第新	ユ第新	ユ第新	ユ第新	ユ第新	ユ第新	ユ第新
ミ珠歌	ミ珠歌	ミ珠歌	ミ珠歌	ミ珠歌	ミ珠歌	ミ珠歌	ミ珠歌
コ文上	コ文上	コ文上	コ文上	コ文上	コ文上	コ文上	コ文上

【一部事務組合等議会】

- ▽11月26日 砂川地区保健衛生組合議会 第2回定例会 女鹿議員
- 空知教育センター組合議会 第2回定例会 湯浅議員
- ▽11月29日 中空知広域水道企業団議会 第2回定例会 川野議長 本田議員
- ▽11月30日 中空知広域市町村圏組合議会 第2回定例会 川野議長 山崎議員
- 中・北空知廃棄物処理広域連合議会第2回定例会 川野議長
- 石狩川流域下水道組合議会 第2回定例会 谷議員

【決算審査特別委員会報告】

委員長 本田 加津子

平成30年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた平成29年度決算に係る議案の審査結果について、12月11日の本会議で委員長より報告があり、いずれも全員一致で認定されました。

●付託議案

- ▽議案第39号 平成29年度歌志内市各会計歳入歳出決算の認定について
- ▽議案第40号 平成29年度歌志内市病院事業会計決算の認定について
- (平成30年9月4日付託)
- 審査日程
- ▽11月14日(1日目) 市立病院・市民課・総務課・選挙管理委員会・企画財政課・議会事務局
- ▽11月15日(2日目) 監査委員事務局・消防本部・保健福祉課・建設課・産業課
- ▽11月16日(3日目) 会計室・教育委員会

行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

▽10月25日

- 小学校の管理運営状況について(現地視察含む)
- 中学校の管理運営状況について(現地視察含む)
- 給食センターの管理運営状況について(現地視察含む)

▽11月28日

- 職員の研修及び福利厚生

可決された意見書

- 義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書
- 認知症施策の推進を求める意見書
- 被災者生活再建支援制度の拡充に関する意見書
- 後期高齢者の窓口2割負担への引き上げを行わないことを求める意見書
- 難病医療費助成制度の改善を求める意見書

編集後記

※これら5件の意見書は12月13日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付しました。

朝夕の寒気が身にしみる時節となりました。皆様におかれましては議会報告会に足を運んでいただき誠にありがとうございます。

今回の各議員の一般質問の中には皆様の意見が元になっているものがありますので是非読んでいただきたいと思います。

編集長 めが